ファンタズム

驚異の新4ch立体音響方式
VISURAMA
スクリーンめがけて鍵線が飛びかう恐怖のビジュラマ体験

ぐいぎゅうたら
[illegible]。

その日、少年は夢の中へ沈んでいった。誰も体験しえなかった 異次元 の闇の底へと…。

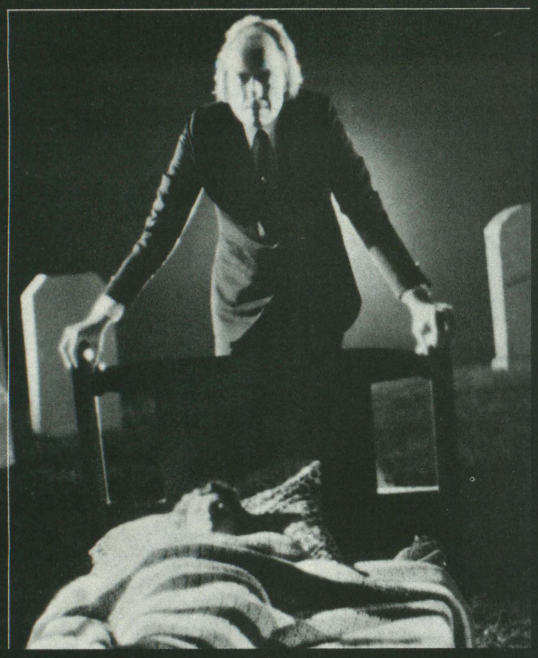
監督・脚本・ドン・コスカレリー●音響効果 ロレーン・ミッチェル/ジーン・コルソ●特殊効果 ホール・ベッパーマン●音楽プレット・マイロー〈サントラ盤〉セブンシーズ●マイケル・ホールドウィン●ビル・ソーンベリー●レシー・ハニスター
第7回アボリアス国際恐怖映画祭・審査員特別賞受賞● PHANTASM ●原作 二見書房刊●カラー作品/アメリカ映画/東宝東和提供

TOWA

11月3日(祝)より《恐怖》のロードショー(ホラースタジアム)

道玄坂・緑屋前
渋谷東宝 (461) 2268

これが80年代の恐怖マシーン！



「ボーイズ・ボーイズ」から1年——コスカレリーは何を仕掛けたのか？

あの「ボーイズ・ボーイズ」の大ヒットにより、世界的な評価を受けたドン・コスカレリー監督。その才気を存分に発揮して、まったく異った映像感覚に挑んだ最新作の登場だ。

「エイリアン」に迫る全米第2位という大ヒットの話題とともにやって来た、かつてない〝映像による映像を超えた〟ニュー・ホラー映画である。

主演の少年マイクには、やはり「ボーイズ・ボーイズ」でスケボーの名手ダグを演じたマイケル・ボールドウィン。異常なほど鋭敏な感受性のゆえに、思いがけない恐怖に引きずり込まれる孤独な少年の熱演は、別人のようだ。また、音響効果、特殊効果に第一線のスタッフを起用、観る者をギリギリと絞めあげる連続映像ショックを生み出している。

驚異の新視聴体験装置
《ビジュラマ》

この「ファンタズム」によって一躍アメリカで注目されているのが《ビジュラマ》だ。人間の五感に突きささるようなハイスピードの戦慄波で、かつてない〈恐怖空間〉を創造した。単なる4チャンネル立体音響のみで恐怖心をあおって来たこれまでのショック映画を超えて、いまなおアメリカの劇場で反響を呼んでいる。スクリーンを飛びかう銀の球面剣（シルバー・スフィア）は、その二次元的平面を超えて観る者の側へと飛び出してくる。一たび劇場に入り込んだら、最後まで出られない状態にまで、まるで360度回転のジェット・コースターのようにあなたを陥れるにちがいない。そればかりでなく〝めまい〟を覚えるほどの刺激を放つ物体が、闇をついて動き回る……それは一体？

モーニングサイドに何が起きたのか?!

妖気ただようモーニングサイド霊園。マイクは、兄ジョディが参列している葬儀を小高い丘から見ていた。参列者が去った後、マイクは異常に背の高い男が棺を軽々と持ちあげて消え去るのを目撃した。びっくりしてそのことを兄に告げるが、兄はとり合おうともしない。そこでマイクは霊園に潜入することを決意した。暗く迷路のような霊廟……。突如、もの凄い唸り声をあげて飛んできたのは狂ったようなシルバー・スフィア（銀の球面剣）だ！

これが現実なのか?!

人間に喰いつき、すべての血を取ってしまう生きもののようなシルバー・スフィア。そして再び、あのトールマンが迫って来た。無我夢中で振り回したナイフで、マイクはトールマンの指を切り落とした。噴き出す黄色い血。マイクは指をつかむと必死に家に逃げ帰った。もう誰も疑う者はいない。遂にジョディも軍用拳銃を携えてモーニングサイドへと向った。正体不明の小人の群れの襲撃や無人自動車の暴走……。もう逃げることはできない！

誰も体験しえなかった〈異次元〉の世界！

霊廟の中のある部屋。異様な明るさの中に奇怪な音叉が唸る。マイクは魅入られたように手を差し入れた。と突然その中に吸い込まれ、間一髪ジョディに救われた。恐しい一瞬だった。そこは誰もが体験しえなかった〈異次元〉の世界なのだ。すべてのカギは、あのトールマンが握っている。逃げることができなければ、打って出るしかない。ついにマイクとジョディは、果敢にもトールマンに挑んでいった。